

# GSway

ともに歩み、ともに進む

特集

第7回

「グローバルシップ株式会社お取引先セミナー」

Vol. 19

DECEMBER 2023



## 「SDGsの取組みを通じたこれからのサステナビリティ戦略」

セミナーの第一部では、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 コンサルティング事業本部 サステナビリティ戦略部マネージャーの深山雄一郎氏をゲストにお招きし、企業がSDGsに取組む背景や進め方のポイントについて事例を交えて詳しくご紹介いただきました。

### 企業規模によるSDGsへの取組みの現状

現在、上場企業から中小企業まで、様々な形で、SDGsやESGへの取組みが進みつつあります。しかしながら、企業規模や経営層の意識の違いにより、取組み内容にも違いが見られます。一部の企業では、取組みの宣言はしたものの目標が明確になっていないとか、その後の具体的な活動につながっていないといったケースも少なくありません。今回はまず、私がSDGs・ESGに関して企業の皆様からご相談いただいた内容を整理し、企業規模や形態別に3つに整理して、特徴的なポイントについてご説明させていただきます。

図1に示したように、上場企業では具体的な活動状況や成果がウエ



三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
コンサルティング事業本部 サステナビリティ戦略部 マネージャー  
深山雄一郎氏

ブサイトなどで公開され、サステナビリティレポートといった形で明確に示すことが出来ていますが、上場下位・未上場中堅企業は取組み宣言やウェブでの開示までは出来ていないものの、マテリアリティ(重要課題)の開示にまで至っている企業は

一部に限られます。さらにそれ以外の中小企業では、取組み宣言をしている企業もまだ一部にとどまっておらず、定性的な目標値が定められていなかったり、現在の活動の延長で目標を設定していたりといったケースも多いのが実情です。

図1 企業規模・形態によるSDGs・ESGへの取組みの方向性とポイント

取組み項目	上場企業 (プライム・スタンダード上位)	上場下位・未上場中堅企業	それ以外の中小企業
マテリアリティの特定	◎多くの企業で取組み済 ・ESG:マテリアリティ特定の手順を示しながら設定されている	○多くの企業で取組み済 ・ESG:マテリアリティ特定の手順を開示している企業は一部	△一部の企業で特定結果を明示 ・マテリアリティ特定の手順を開示している企業は一部
具体的な活動及び成果	◎具体的な活動・成果を報告 ・全社による組織的な活動 ・事業に即した活動	○具体的な活動を報告 ・一部組織による活動も多い ・社員の巻き込みに苦慮	△活動を報告しているのは一部 ・社員の巻き込みに苦慮 ・活動自体が行われていないケースも

深山雄一郎氏 セミナー資料より抜粋



## SDGsの取組みと経営活用

### ～「第7回 グローブシップ株式会社お取引先セミナー」より～

11月20日に「グローブシップ株式会社お取引先セミナー」を大手町サンケイプラザにて開催いたしました。7回目となる本セミナーでは、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの深山氏をゲストスピーカーに迎え、いまあらゆる企業が経営課題の一つとして推し進めているSDGsにフォーカスして多角的な視点でご講演いただきました。また、グローブシップがSDGs実現に向けて進めている具体的な取組みについてもお話ししました。本特集では、当日の講演の模様をダイジェストでご紹介します。



#### 開会のご挨拶

#### 経営課題として取組むSDGs

毎年恒例となっている「グローブシップ株式会社お取引先セミナー」ですが、過去3年間はオンラインセミナーとして実施いたしましたが、今年は4年ぶりに対面で開催することができ、大変嬉しく思っています。

今回はSDGsをテーマとさせていただきます。気候変動の影響が急速に拡大、深刻化している現在、サステナビリティへの取組みは世界中の企業や団体の注目を集めています。さらに昨年には東京証券取引所プライム市場の企業に気候関連財務情報の開示が義務化されたこともあり、SDGsへの対応がますます必要となってきております。

グローブシップでは、昨年からはスタートした第3次中期経営計画の3本柱のひとつに「サステナビリティ戦略」を据え、SDGsに積極的に取り組んでいます。

本日は、三菱UFJリサーチ&コンサルティングでコンサルタントとしてご活躍されている深山様より企業のSDGsの取組みの最新動向と実現に向けたポイントについて解説いただきます。また当社の取組みとして、清掃サービスエコマーク取得と人財活用の多様化について説明させていただきます。本日のお話が皆様のサステナビリティ推進の一助となれば幸いです。

代表取締役社長 矢口敏和

## SDGsは企業にとって存在意義そのもの

では、なぜSDGsに経営者の注目が集まるのでしょうか？

国連による長期国際社会目標（2030年目標）の提示が行われたことをきっかけとして、投融資における非財務（ESG：環境・社会・ガバナンス）評価が導入され注目を集めたこともあり、世界的にCSR（企業の社会的責任）への取組みが急速に加速しました。さらに事業を通じて社会的課題を解決するというCSV（共有価値の創造）への取組みも本格化してきています。

日本ではCSRが浸透している企業が非常に多くありますが、そうした企業のいくつかは既にCSVの観

点で社会貢献へと徐々にシフトし始めています。さらに地球規模の課題を軸としたSDGs推進へと動き出しました。

今やSDGsは、世界的に解決しなければならない社会的な課題の集まりとなりました。そして、企業が人々のニーズに応え、社会の発展に貢献する存在であるとするなら、SDGsは企業にとっての存在意義そのものとなります。

しかし、前述したように中堅・中小企業でのSDGsへの取組みは道半ばです。その原因の一つとして、SDGsに取り組むメリットがまだ十分に浸透していないことが考えられます。

図2は環境省の資料をもとに中堅・中小企業がSDGsに取り組むメ

リットをまとめたものです。SDGsは企業イメージ向上や社会課題への対応といった印象を持たれがちですが、それ以上に「生存戦略としての活用」と「新たな事業機会とイノベーションの創出」という、ビジネスを継続していくための手段としてのメリットが非常に重要となります。今後、SDGsに対応しているか否かがビジネスにおける取引条件になるケースが増えるでしょう。そして、SDGsに関わる取組みが今までにない新規事業を生み出すきっかけとなる可能性も少なくないと考えられます。

## SDGsに取り組むためのアプローチ

では、実際にSDGsに取り組むにあ

たって、企業はどのような点を重視すれば良いのでしょうか？

開示されている事例では、サステナビリティに関する専用ページを設け、サステナビリティへの取組みと戦略に関する基本的な考え方を経営理念と関係づけて明示し、マテリアリティやKPIの考え方についても明確に表明しています。また持株会社の設定したグループ全体のサステナビリティ宣言を受けて自社の取組みを記載している事例もあります。

図3はSDGsの行動指針であるSDGコンパスをもとに、SDGsに取り組む際の基本的なアプローチをまとめたものです。取組みの流れがステップ1からステップ5までに整理されていますが、特に2から4のステップがポイントになります。

まずステップ2の「優先課題の決定」では、外部要因、自社事業との関係、自社の強みと弱みなどを考慮してマテリアリティ（経営上の重要課題）を特定するとともに、社内ヒアリングと専門家の第三者的知見を通じて課題の重要度を評価します。

ステップ3の「目標の設定」では、決定された優先課題から目標を設定し、優先順位を付けた上でより具体的な活動内容へと展開します。各目標には可能な範囲でKPIを設定するとともに、達成期限を設けることも大切です。

そしてステップ4では、マテリアリティやSDGs目標を企業戦略や組織体制に組み込んでいく「経営への統合」を実践します。併せて、定期的に活動状況をレビューし、社員一人一人に社会課題の解決を「自分ごと」として捉えてもらえるようになること

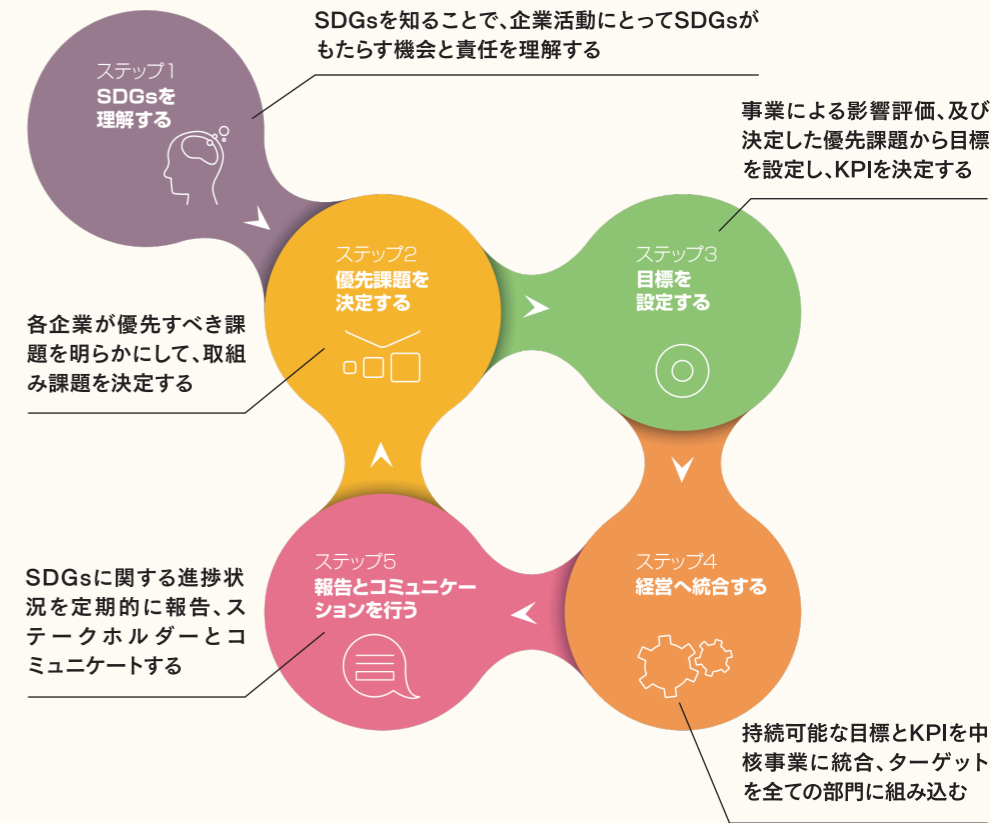


図3 SDGs導入の進め方とポイント  
SDGコンパスはGRI、国連GC、WBCSD「SDG Compass SDGsの企業行動指針」より

が理想です。

いまESG投資やSDGsの動きが加速している中で、企業が目指すべき目標と行動には大きな革新が起きています。

既存のミッション・事業に紐付けた目標ではなく、SDGsのターゲットを意識したより広い視野から未来計画を策定し、バックキャストで中期経営計画や単年度計画に反映する取組みが求められています。

ビジネスの目標は、単なる業績向上から、社会全体の課題解決を念頭に置いて決定されるようになり、またコンプライアンスは違反による風評リスク管理からジェンダー平等や気候変動による財務リスクの管理へと重点が移っていくでしょう。これからの企業には、こうした社会の潮流にしっかりと視点を合わせ、恐れずに変化を続けていくことが求められます。

### Profile 深山雄一郎

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
コンサルティング事業本部 サステナビリティ戦略部 マネージャー

- 東京大学大学院 工学系研究科 修士課程修了（反応化学専攻）
- 一般社団法人エコステージ協会 理事
- 専門分野  
マネジメントシステム導入支援（品質、環境、情報）、  
中堅・中小企業のCSV/SDGs/ESG戦略導入支援、  
業務改善支援、中堅中小企業の事業共創支援

## 図2 中堅・中小企業がSDGsに取り組むメリット

「企業イメージの向上」や「社会課題への対応」といった狙い以外の中長期的メリット

SDGsに取り組む狙い	SDGsによる効果	企業（特に中堅・中小企業）が抱える課題（例）
生存戦略としての活用	生存競争が激しくなる中で、SDGsへの対応がビジネスにおける取引条件になる可能性もあり、持続可能な経営を行う戦略としても活用できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信用ある会社と認識されにくい</li> <li>・グリーン調達、CSR調達への場当たりの対応になりがちである</li> <li>・会社のビジョンや将来性が見えにくい</li> </ul>
新たな事業機会およびイノベーション創出	取組みをきっかけに、地域との連携、新しい取引先や事業パートナーの獲得、新たな事業の創出など、今までなかったイノベーションやパートナーシップにつながる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社のビジョンや将来性が見えにくい</li> <li>・日常の業務に埋没し、自社の進むべき方向性が打ち出せない</li> <li>・事業に関する中長期的な取組みの方向性が示せない</li> </ul>

深山雄一郎氏 セミナー資料より抜粋

# 「当社におけるSDGsの取組み」

第二部では、グローブシップが取組んでいるSDGs実現に向けた施策の中から、清掃サービスエコマークに関するプロジェクトと、人財活用多様化の施策についてご紹介しました。

## 「清掃サービスエコマーク」の取得経緯と導入効果

グローブシップでは、2023年3月に首都圏10ヶ所の施設で「No.510 清掃サービスエコマーク」の認定を取得。現在では29ヶ所の施設が認定されています。最終的には全施設で認定を受けることを目標としています。

エコマークとは、環境に配慮していると認められた製品に対して環境省が所管する公益財団法人日本環境協会から与えられる環境ラベルで、中立公平な第三者による認証であるため、信頼度が極めて高いものとなっています。さらに製品だけでなくサービスにまで展開したエコマークのうち、清掃サービス提供業務に特化したものが「No.510 清掃サービスエコマーク」であり、現在はバージョン1.0が基準となっています。

この認証は主に、ビルメンテナンス事業者における環境に配慮した



安全品質推進部 猪股圭介

清掃業務の普及拡大、環境に配慮した清掃用具の開発の活性化、あるいは発注者であるビル所有者への環境配慮型清掃業務の認知・利用拡大など、様々な面で社会に貢献するものと期待されています。

当社では、数年前から清掃に使用する資機材の統一を指向していましたが、その過程で清掃サービスエコマークの存在を認識したことから、環境負荷低減に貢献する手段の一つとしてのエコマークの取得により、同時に資機材の統一も可能になると判断して取得に動き出しました。

認定を受けるための条件から、いくつかの取組みをご紹介します。

- (1) 床の剥離洗浄汚水の適正排水／廃棄  
排水に関する法規制や施設の排水ルールを順守。排水NGの施設では固形化して廃棄
- (2) 洗剤やワックスの成分把握  
資材の安全データシートに基づき、「化学物質管理促進法」の管理対象

である化学物質の含有有無を把握 (3) 特定の洗剤・ワックスの使用禁止  
室内空気汚染の原因とされている揮発性有機化合物(厚労省の指定13物質)を含んだものは使用しない

このような清掃サービスエコマーク認定取得への取組みにより、地球環境の保全に貢献できるほか、使用する資機材の絞り込みによりサービス品質が均質化され、さらに現場の活性化もあいまって、品質向上と安全性の向上というメリットにも繋がります。

また、環境負荷低減やSDGsに取り組まれているお客様は、環境負荷低減策の一環として、第三者認証であるNo.510清掃サービスエコマークを受けた環境に優しい清掃サービス会社を起用していることを対外的にアピールいただけます。

今後もグローブシップでは、お客様にご満足いただけるような環境に優しい清掃サービスをお届けしてまいります。

## 人財活用多様化の取組み

グローブシップでは現在、182名の外国人従業員が働いています。国別に見ると、一番多いのがミャンマーで108名。次に多い国はフィリピンで26名。以下、中国、韓国が続きます、計15か国に及びます。

職種の内訳としてはクリーンクルー職が144名、次いで設備職が22名です。5年間の技能実習を満了して特定技能1号に移行した社員が16名います。

こうした人財の背景と現在の活躍について、業務人事部 国際人材開発課 課長代理のダー・メン・スンは次のように話します。



ダー・メン・スン(ミャンマー出身)

「特定技能に移行した実習生たちは、みな母国にいる家族に送金することでその生活を支えています。彼女たちは、安心・安全な会社で安定して働けることに感謝の気持ちを持っていて、ほとんどの実習生は特定技能へ移行して継続して当社で働き続けることを希望します。会社が外国人材と共生していくための懸け橋として、彼女たちは活躍してくれています」

当社では、外国人の雇用ならびに登用を積極的に行っていくことを基本方針としています。技能実習を通じて当社の品質レベルや安全手法を学び、特定技能1号になった者にはリーダー候補のコースも用意し、特定技能2号では現場のリーダーとして活躍できます。さらに、チューターとして外国人材の世話役や指導役に就いてもらい、その後は管理監督職としてマネジメントを担うことも可能です。

管理職として活躍しているFMDX 開発事業部 グローバル事業課 課長代理のレディ・オルガディア・ソピアンは次のように話します。

「当社が、外国人や女性にも他の社員と平等に同じ成長のチャンスを与えてくれることにとても感謝しています。後輩の皆さんもこの環境の良さを理解し、チャンスを最大限に活かしてキャリアアップに挑戦してほしいと思っています。私も同じ環境にいる先輩として、日本での生活や仕事上でのサポートなど、様々な面で後輩の成長に貢献したいと思っています」

グローブシップでは、外国人雇用を単なる人手不足を解消する手段



レディ・オルガディア・ソピアン (インドネシア出身)

としてだけでなく、多様性(ダイバーシティ)に富んだ社内環境づくりのための重要な資産として、今後も積極的に推進していきたいと考えています。

また、グローブシップは人財の多様性の一環として、ロボットとの共存による省人化・省力化にも取り組んでいます。清掃ロボットWhizシリーズは全国で約300台が稼働し、人材不足に悩む現場で多くの作業を担っています。また現在、様々な警備機能を備えた自律型ロボット「アイオロス」の検証を重ねており、来年春ごろにはご案内できるよう準備を進めています。



業務人事部長 高橋晋(左)、常務執行役員 諸橋勝悟(右)

# お客様と ともに 歩む。Vol.10



## 「紙与博多ビル」



エイジングを重視した設計により年月が風合いを醸し出す

### Building Profile

所在地  
福岡市博多区博多駅前一丁目2番5号  
管理規模：地下1階、地上11階、塔屋1階  
延床面積：約18,328㎡  
主要用途：オフィス



大博通りに面し、JRおよび地下鉄の博多駅前の好立地でアクセスも良好

## 設計当初から続くエイジング思想のもと 高い品格と最先端のテクノロジーが融合

九州最大の都市で人口164万人を擁する福岡市は、人口増加率や開業率などで全国のトップクラスを維持しており、商業地そしてビジネス街としての今後の更なる発展が期待されています。そうした福岡の街の進化をインフラ面で支えてきたのが、紙与グループが運営する数々のオフィスビルです。中でも、竣工から30年を経た現在も高い人気を誇るのが、大博通りに面し、博多駅から徒歩4分という好立地にある「紙与博多ビル」です。

### 歳月を重ねるごとに風合いが 増し、街並みとの一体感も

1993年に開業した紙与博多ビルは、1フロアの有効面積(約340坪)に対して、一般用エレベーター4基、トイレの個室が各フロア男女3室ずつ、貨物用の独立した動線が確保されているなど、共用インフラが充実しています。さらに、同ビルが30年経過した現在でも入居者から高い評価を得ている理由のひとつが、設計当時から「エイジング思想」にあります。

紙与博多ビルの運営管理業務を担っている三菱地所プロパティマネジメント株式会社九州支店 副主査の菅晃太郎様は次のように説明します。

「紙与博多ビルの設計者は、上手に歳月を重ねていけるビルになることを強く意識し、外壁や内装の素材を品と重厚感のあるもので選定して、至る所に何年

経っても陳腐化しないようなデザインを施しました。また、ビル全体でのデザインの統一はもとより、街並みとの一体感も図られています」

現在20社ほどの企業が入居され、博多駅に近いことから内覧に訪れるお客様も後を絶ちませんが、多くの方が「年月を感じさせない品格のあるビルだ」という感想を述べられます。一方で、2年前には全館の照明をLED化するとともに、空調も最新の設備にリニューアルされました。ウェルエイジングによる高い品格と最先端のテクノロジーを兼ね備えたオフィスビルとして、その人気はまだまだ続きそうです。



タイルの紋様

### お客様の意見に耳を傾け、 地域性に特化した対策も

三菱地所プロパティマネジメント九州支社は、竣工以来運営管理を担当していた旧管理会社から2023年4月に紙与博多ビルの運営管理業務を引き継ぎました。

入居歴の長い企業もあるため、従来の管理方針を一気に転換するのではなく、お客様との情報交換を重ねながら、ルールを整理して明文化するなど、少しずつ改善を進めてきました。また、経年劣化した設備の更新など、より快適な環境を構築していくための新たな提案も積極的に進んでいます。

トラブルの連絡が入った際には一刻も早く現場に向かい、一時的な対応も含めてスピーディかつ精度の高い作業を行うことを信条としています。

「私たちにとっては、利用される皆様が日々心地良く過ごしていただけているかどうか最も大切です。そのため、日頃から入居者様とのコミュニケーションを絶やさず、何かあった際にはタイムリーかつ正確に報告・連絡・相談を行っていくことを心掛けています」(菅様) BCP(事業継続計画)の観点からは、水害対策に重点を置いています。

九州は、台風や集中豪雨など水害が少なくないため、有事を想定した準備が不可欠です。およそ20年前には、河川の氾濫でビルの地下駐車場が浸水するという被害を受けました。それを教訓とし、現在では地下の入り口に防潮板を設置し、水止め用の土のうも用意して



三菱地所プロパティマネジメント九州支店 副主査 菅晃太郎様(左)、グローブシップ 紙与博多ビル出張所 所長 山本高弘(右)

いるほか、排水設備も整備しました。

### 競争力を維持するため 利便性と快適性を追求

グローブシップは、ビルの運営管理会社変更に伴い2023年4月から清掃や点検をはじめとするメンテナンス業務を受託しています。

菅様は、グローブシップの業務支援について次のように高く評価されています。「グローブシップさんは、経年によりメンテナンス作業に困難さが伴う現場においても、迅速で丁寧な作業を行っていただけます。入居者様からのクレームは確実に減少していると感じます。今後も、日々の業務の中で得た気付きを活かし、積極的に改善のアドバイスをいただきたいと期待しています」

現在、博多駅周辺では新しいビルの建設ラッシュが続いています。紙与博多ビ

ルでは、そうした中でも施設としての競争力を維持していくために、今後数年掛けて多くのハード面の刷新を図っていく計画です。具体的には、1階部分の共用ラウンジ新設、ICカードによるセキュリティシステムの導入、廊下の照明、床、壁、天井、さらにはトイレのリニューアルなども予定しております。すべてが完了すればビルの印象は大きく変わり、利便性と快適性もさらに高まります。

「現在、福岡・博多地区では、天神イムズ跡で新たな複合施設の計画をはじめ、大規模な再開発が多数進められています。2023年8月には当社グループが手掛ける新たなホテル「ザ ロイヤルパーク キャンパス 福岡中洲」もオープンしました。開発プロジェクトが落ち着く数年後には、天神・博多エリアのまちの魅力は大きく向上し、注目度が更に増すと思われます。福岡へお越しの機会がありましたら、是非開放的なロケーションにある当ホテルをご利用下さい」

## グローブシップ 紙与博多ビル出張所 所長 山本高弘

竣工から30年が経過したビルの特性上、水回りのメンテナンス作業には多くの労力を割いています。基本は、慎重に手順を確認しながら、安全・確実に作業を進めることです。遠隔管理の設備はないため、現場での質の高い対応が重要であり、入居者の皆様との日々のコミュニケーションが何よりも大切です。その一環として、点検のお知らせをお客様に一斉配信するシステムを本年4月に導入しました。今後は、AIを活用したビル管理システムなど様々なツールも活用しながら、お客様の業務効率と利便性の向上に貢献していきたいと考えています。

受託サービス：設備管理、清掃、警備  
配置人数：設備4名、清掃10名(設備4名はSE職で警備も兼務)  
(2023年10月現在)



# WELCOME! 地域会社へようこそ!

全国に広がるグローブシップグループのネットワークをご紹介します。



## 山梨グローブシップ株式会社

“良い会社にしていこう!”をスローガンに  
“真面目に一所懸命”に頑張っています!

当社は、1963年に完成した山梨県本庁舎の清掃事業を請け負うため、株式会社ビル代行(当時)の山梨営業所として創設されました。その後、東京電力や官公庁からの清掃業務の受託により業績を伸ばし、10年後の1973年にはビル代行から分離独立し、山梨県におけるビルメンテナンス業の草分けとして山梨ビル代行株式会社を設立。今年はそのからちょうど50周年を迎える節目の年となりました。

70年代に入って衛生環境に関する法律が改正されたことをきっかけに、山梨県ビルメンテナンス協会が1976年に発足しましたが、当社はその中心的な役割も担い、一時期は協会の会長を務めるなど、業界の発展にも大きく貢献してきました。こうした取り組みを通じて行政や業界からの厚い信頼を得られたことが、現在の事業基盤を支えていると言っても過言ではありません。

平成の中盤以降は、バブル崩壊や一般競争入札への移行など経営環境に影響を与える様々な変化がありましたが、家

電販売(現在は撤退)や電気保安業務、さらには建設業といった新たな分野へと活路を見出す努力を行ってきた結果、業績の維持を図ることができました。

現在提供しているサービスは、清掃、設備管理、警備、受付、電話交換といったビルメンテナンス業務が主力となっているほか、電気保安法人としての認可や、建設・電気工事業および労働者派遣業の許可も取得したことで、ビル管理を総合的かつワンストップでサポートできる体制へと拡大しています。

主要な管理物件としては一般企業からの案件に加え、官公庁や公共施設が多いのが特徴で、いずれも長期にわたる業務委託により強い信頼関係を築いてきたお客様ばかりです。公共調達における競争入札制度によって他の業者に移行したケースもありましたが、いくつかのお客様は再び当社を指名していただけるなど、サービス品質に関して多くの皆様から高いご評価をいただいています。近年は山梨県内だけでなく、長野や静岡などへと営業エリアを広げ、清

掃ロボットWhizの導入などにより効率をも向上させた高品質なサービスを、広域に提供しています。

昨年スタートした第3次中期計画では“良い会社にしていこう!”をスローガンとしており、従業員一人一人が主役となって“真面目に一所懸命”に頑張っています。これからも皆様の強力なご支援を何卒宜しくお願いいたします。



山梨グローブシップ株式会社  
代表取締役社長 本宮健志

当社の特徴の一つとして、女性活躍を強力に推進している点が挙げられます。本社のバックオフィスの業務はほぼ女性だけで回している状況にあります。また優秀な人材はどんどん管理職に登用しています。男女を問わず、やる気さえあればチャンスを与えるというのが当社のモットーであり、今後はさらに人材育成や処遇改善にも努めていきたいと考えています。

### 会社情報 山梨グローブシップ株式会社

所在地: 山梨県甲府市伊勢3丁目5-24  
設立: 1973年7月2日(2016年10月1日に山梨ビル代行株式会社から社名変更)  
事業内容: 設備管理、各種清掃、警備・受付、工事全般、労働者派遣ほか  
主な管理ビル: 甲府市役所、山梨県庁本庁舎、山梨県立中央病院、山梨病院、東京電力、東京ガス山梨など(敬称略)  
従業員数: 205名(パート含む)

## 全社BCP訓練を実施

大地震災害の発生を想定した全社BCP訓練を10月15日に実施しました。当日は災害対策本部のメンバーの他、本社支店・出張所の責任者が参加しました。参加者全員が有事にも落ち着いた行動が取れるよう、マニュアルを再確認するとともに、被害の想定に沿った具体的な初期対応訓練と交通機関が使えない場合の徒歩訓練を実施しました。訓練終了後には意見交換会が行われ、参加した出張所からもアンケートが寄せられ、今後に向けた課題が整理されました。



## 部支店・優秀出張所表彰式を開催



新型コロナウイルスの影響でここ3年のあいだ縮小開催を余儀なくされていた毎年恒例の部支店・優秀出張所表彰式を、7月26日、4年ぶりに関係者を集めて、本社で大々的に開催しました。授与式の中で社長矢口から「出張所表彰制度は、業績面だけではなく、品質向上や人材育成など、皆さん方の努力を拾い上げて評価し表彰している」という言葉がありました。表彰はこのような様々な取り組みや努力を、多面的かつ総合的に評価するものです。また部支店の表彰は、出張所のサポートにいかに取り組んだかが評価対象です。

出張所表彰の総合賞、および部・支店表彰でそれぞれ金賞に輝いた部門は以下のとおりです。

- <優秀出張所表彰 総合管理 1位(金賞)> 大阪支店 リソな銀行本店ビル出張所
- <優秀出張所表彰 単一管理 1位(金賞)> 営業三部 新有楽町ビル・有楽町ビル出張所
- <本社部門表彰 1位(金賞)> 営業三部
- <支店表彰 1位(金賞)> 大阪支店

## 韓国ビルメンテナンス会社から視察団

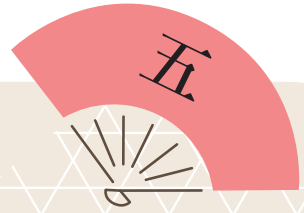
韓国のビルメンテナンス会社ASTA IBS社(アスタアイピーエス社 本社ソウル)の視察団が4年ぶりに来日しました。10月20日に本社を訪れたのは、優秀社員として選ばれた同社の40名の皆さんです。まずFMDXの取り組みに関する説明を受け、フリーアドレス制のオフィススペースや清掃ロボットが働く様子を見学。昼食を挟んでGS研修センターに移動し多様な研修設備を視察しました。日韓の交流を深める大変有意義な一日となりました。



## 2023年度神奈川大学のSDGsアワードに協賛

グローブシップは昨年に引き続き「神奈川大学SDGsアワード」に協賛しています。神奈川大学では、横浜市ごみ焼却場の再生可能エネルギーの導入など、全国の大学に先駆けSDGs達成に向けた多様な取り組みを展開しています。SDGsアワードはその一環で、社会の課題を学生の視点で考えてもらい、研究内容や解決策を若い世代の感性で表現してもらおうというコンテストです。今年はどういうユニークなアイデアが出てくるか、期待しています。

# 春風亭昇吉の 耳寄ばなし与太ばなし



このエッセイが、皆様のお手元に届くのは、年の瀬の忙しい頃でしょうか。

一陽来福、新しい年も、皆様におかれましては、良い年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

元旦には初詣をなさる方も多いと思います。私は、家から近いので毎年、明治神宮にお参りをしていますが、今年は少し遠方に出かけてもいいかなと思っております。初詣の人出は、明治神宮に続いて、千葉県の成田山、それから川崎大師、京都府の伏見稲荷大社、そして鶴岡八幡宮が多いようです。身を清めて、正装をしてお参りをするのは実に気持ちの良いものです。

落語にも、親子で天神様をお参りする『初天神』という噺があります。

おとつあんと金坊がお参りに出かける。境内にはたくさんのお店が出ています。金坊はうちを出るときは、駄々をこねない約束だったのですが、次第に我慢ができなくなって、飴や団子をねだります。いまでも、スーパーマーケットやショッピングモールで、お菓子やおもちゃを買ってくれと、騒いでいる子供を見かけます。普遍的な情景ですね。子どもに振り回される大人という滑稽さです。



この噺、大阪では大阪天満宮、東京では湯島天神や亀戸天神が舞台になっているようです。

神社には「八幡」「稲荷」「天神」「天満宮」などがありますが、これらは祀っている神様に違いがあるようです。「八幡」と付く神社におまつりされている神様は第十五代の応神天皇、「稲荷」と付く神社におまつりされている神様は、宇迦之御魂神(うかのみたまのかみ)で、もともとは農業の神様でした。今回のテーマである「天神」と付く神社におまつりされている神様である、菅原道真公(845-903)は、学問の神様です。「天満宮」と「天神」は同じです。その天満宮の新年最初のご縁日(1月25日)が「初天神」です。ちょうど、受験シーズンですし、お参りする方も多いと思います。

今は、大阪天満宮の北側には、落語の定席「天満天神繁昌亭」があります。2006年にオープンしました。また、湯島天神の近くには、鈴木演芸場や上野広小路亭があります。お正月にお参りをしたついでに寄席に足をお運びになれば、滑稽噺の初天神で、初笑いができるのではないのでしょうか？



## 滑稽噺の初天神で、初笑いを



春風亭昇吉／落語家

1979年岡山県生まれ。史上初の東大出身落語家。在学中に全日本学生落語選手権・策伝大賞で優勝し、東大で初の総長大賞に輝く。2007年に春風亭昇太師匠に弟子入り。厳しい修行時代を経て、2021年に真打昇進。気象予報士やテレビ番組の司会等、広範に活動を展開しています。